

## No. 1 : 県産品フェア

近頃「香港は大丈夫か」と心配されることが増えた。生活、治安、輸出、日本産品の扱い、インバウンド（訪日客）、対日感情などなど。昨今の日中関係の印象からだと思うが、現地で暮らす身からすると、だいぶ懸念が先行しているように感じる。

結論から言えば、香港は大丈夫だ。残念ながら日本人アーティストの公演が中止になることはあるのだが、中国本土とは異なり、通関の遅延はなく、訪日客数も増加傾向にある。日本人同士の飲み会などもこれまで通りで、体感的にも1年前と大きな変化はない。

当事務所の業務にも支障はなく、1月から3月にかけて県産品フェアを開催した。テストマーケティングを目的に菓子、調味料、茶、ジュース、日本酒など県内18事業者の30商品以上を販売。今回は急成長する香港のオンライン市場にも着目し、初めて電子商取引（EC）サイトを活用。香港のイオン旗艦店である太古の「AEON STYLE 康怡（コーンヒル）」での販売と併せ、二つのルートで展開した。



【AEON STYLE 康怡で行われた県産品フェアの様子＝3月6日、香港・太古】

外食が多く台所も狭いなど、生活スタイルの異なる香港の人々に商品の魅力を伝えるため、背景や調理方法、食べ方などを丁寧に紹介。併せてサイト上では本県の自然や文化を発信し、店舗ではポップによる商品説明の他に観光パネルを展示するなど、県全体の認知度向上も意識した。

3月6日のオープニングイベントには、在香港日本国総領事館や日本政府観光局（JNTO）などの関係機関、食品関係事業者なども参加し、メディアや交流サイト（SNS）にも取り上げられた。反響は大きく、一部商品は最終日を待たずに売り切れとなった。

同16日には県庁で成果報告会を初開催した。参加事業者の方々と売り上げ状況やアンケート分析結果を共有するとともに、香港人スタッフが市場特性などについて説明する機会を設けた。少しでもお役に立てれば幸いである。

本年度も県では、テストマーケティングの他、助成制度、セミナー、バイヤー<sup>しょうへい</sup>招聘など、各種サポートを予定している。ぜひ国際経済課までお問い合わせいただければと思う。

さて、桜咲くことも花粉症もない4月の香港で何とか2年目を迎えた。今後もしばらくは不透明な状況が続くのかもしれない。しっかりと足元を見つめ、質素堅実の精神で精進していきたい。

県香港事務所長 <sup>すずきたかあき</sup> 鈴木高明